

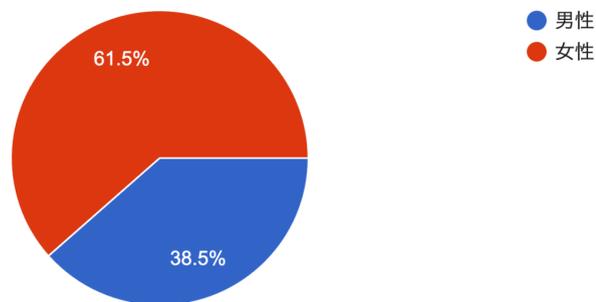
排尿障害 アンケートのまとめ

アンケート結果概要

26人の方からご回答いただきました。その内訳は、女性16人(61.5%)男性10人(38.5%)と女性の方が排尿にお悩みが多いようです。回答者の年齢分布は 30代19.2%・40代15.4%・50代42.3%・60代23.1% と、50歳代が最も多かったです。これは、当院患者様の年齢分布とほぼ一致しております。

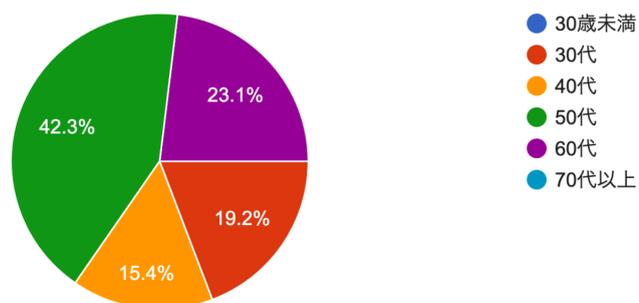
あなたの性別を教えてください

26件の回答



あなたの年齢を教えてください

26件の回答



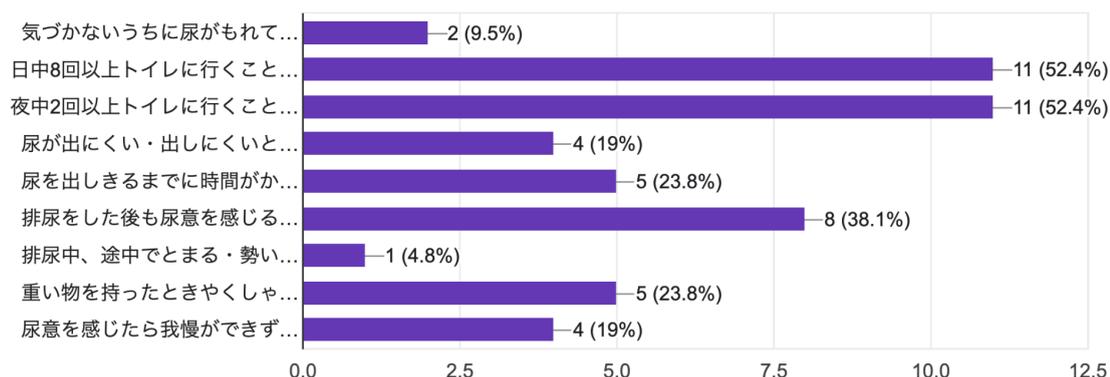
おしっこトラブルの症状

症状として一番多くみられたのは、日中・夜間の頻尿(11人)でした。次におしっこをしたあとも尿意を感じる残尿感(8人)、腹圧がかかったときに漏れてしまう腹圧性失禁(5人)がありました。何かしらの排尿トラブルはあるが、日常生活に支障をきたしていない人は8人いました。

日常生活への影響があると返答した人では、主に頻尿に関連することが多くあがり、トイレが気になり外出するのが億劫であったり、夜間覚醒し朝までぐっすり眠れないことへのストレスを感じている人が多いようです。

以下の症状のうち、思い当たるものはありますか？（複数選択可能）

21件の回答



また、排尿トラブルに対して誰かに相談したことがない人は16人でした。あると返答した人は2人でした。排尿トラブルに対して、予防法があれば知りたい人が多くいました。原因や治療法についても知りたいと思っている人が多かったです。排尿トラブルに対して、予防や対処方法があれば知りたいと思う反面、加齢によるものとして諦めるしかないのかと思っている人もいました。

40～50代からみられるという排尿トラブルですが、今回のアンケート結果から当院受診患者さまにおける排尿トラブルでは、だれでも一度は聞いたことがある代表的な症状の頻尿・残尿感・腹圧性失禁が多くみられ、また40代以降の方々が排尿トラブルに対して悩んでいるようです。頻尿は夜間の睡眠の質を下げるだけでなく、日中の活動にも大きく影響しており個々のQOLを低下させる大きな要因の一つになっています。「としだからしょうがない」「誰に相談していいのかわからない」「おしっこのことなんて話すのは恥ずかしい」と思われるかもしれませんが、一度自身の排尿トラブルについて話してみませんか？

信州会クリニックでは、どんな症状でもお悩みでもご相談受け付けます。高齢医者であるからこそ理解できることも多々ありますので、どうぞ恥ずかしがらずにお話し下さい。

今回のアンケートによって、より多くの方がご自身の体調に興味を持って頂くきっかけになれば幸いです。

謝辞

お忙しい中、時間のかかるアンケートにお答えくださった方々に心より感謝申し上げます。

Happy & High QOL ！

信州会クリニック

院長 永井 一成

保健師・看護師 黒川 未有希